



加飾フィルム向けポリプロピレン

開発ステージ

構想・探索

開発中

開発完了

製品化完了

キーワード

マテリアル
リサイクル

モノマテリアル

再利用設計

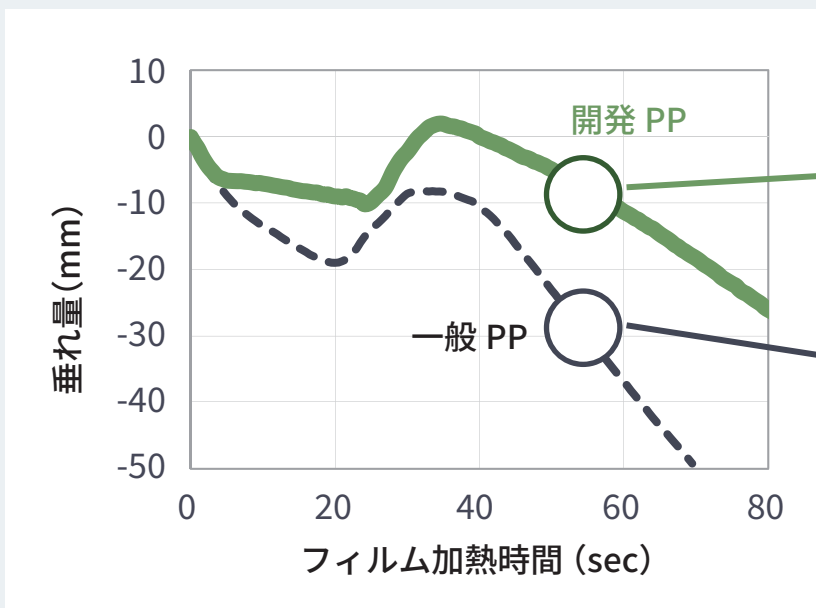
用途

自動車部材（内外装）／住設部材向け加飾フィルム

背景

- 塗装では、リサイクル工程において塗膜除去が必要
- 従来のポリプロピレンフィルムは、異材料と比較して成形性が不十分
- 異材料加飾フィルムで加飾する場合、ポリプロピレン基材上に接着層が必要

優れた成形性（高溶融張力）

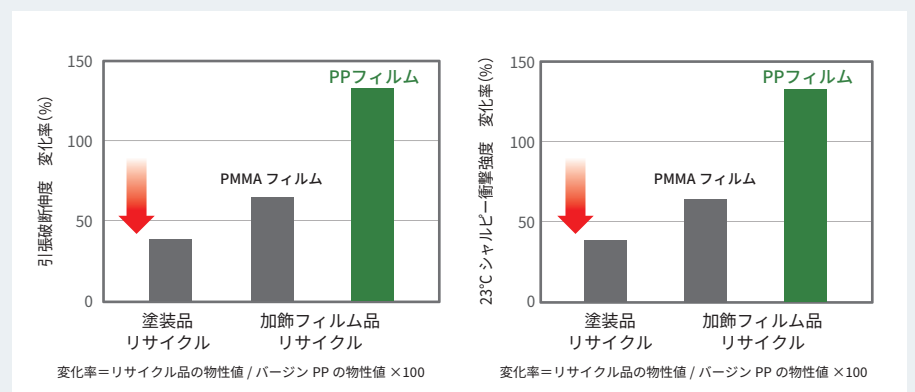
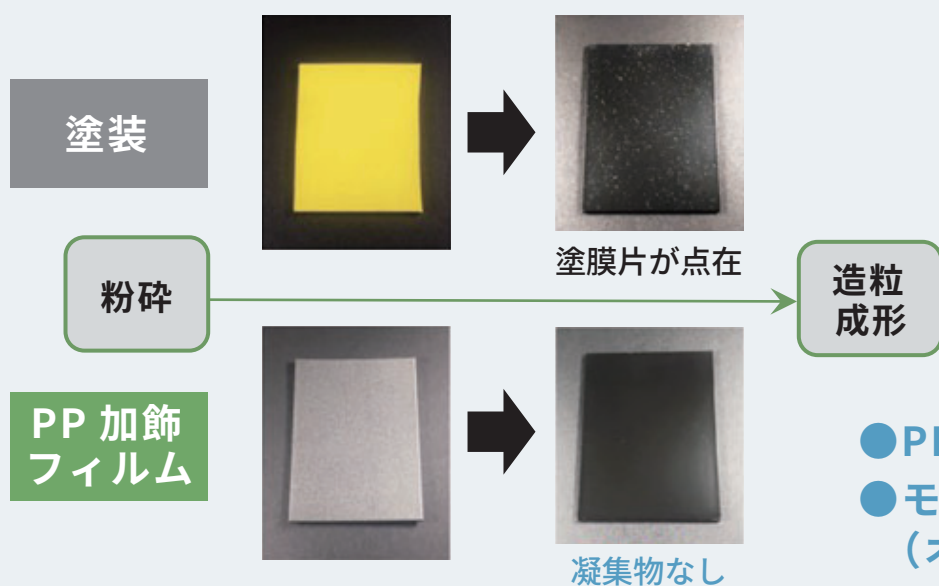


優れた成形性

不十分な成形性



易リサイクル性（モノマテリアル化）



- PP加飾フィルムは、塗装品よりもリサイクルが容易
- モノマテリアル品は、リサイクル後も物性保持（オールPP化設計により、接着剤が不要）

お問い合わせ | 日本ポリプロ株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。